

企画展特別イベント
ひとがたをつくる
ひとたち

展示会でご紹介しきれないけれど、もっと「ひとがた」の在り方について広く知りたい！というご要望にお応えし、日本のアウトサイダーアートを発掘紹介し続けている柳野展正さんにお越しいただき、柳野さんのこれまで見てきた「ひとがた」に関わる人々をご紹介いただきます。また、本展に展示のやまなみ工房と嬉々!! CREATIVEの2施設の代表として山下完和さんと北澤桃子さん、アーティストの工藤千尋さんをお迎えし、それぞれの見る「ひととひとがた」について語り合います。



概要
日時：2024年4月13日(土) 13:00～16:30
場所：4階 あかいくつ劇場
料金：500円(※別途企画展チケットが必要)
定員：100名
予約：当館ホームページから3月17日(日) 10時より予約開始

- 第1部 13:00～14:00 クシノテラス柳野展正さんによる講演 「柳野展正が見る ひとがた」
- 第2部 14:10～15:20 やまなみ工房 「地蔵とリビドー」上映会
- 第3部 15:30～16:30 柳野展正さん、山下完和さん、工藤千尋さん、北澤桃子さんによるトークショー 「それぞれのひとがた」



スペシャルパフォーマンスデイ

- 第1部 13:00～13:40
白鳥兄弟による「土偶マイム&ミニトーク」
土偶マイムとは、自らの身体で土偶を表現する、世界で唯一のパフォーマンスです。土偶についてのミニトークと併せてお楽しみください。
- 第2部 14:00～14:15
嬉々!! パフォーマンスラボによる「スナック仁美」
スナックを舞台にしたミュージカルコント。仁美ママが歌う懐かしの昭和歌謡に合わせて、常連客達が踊り出します。
- 第3部 14:30～14:45
嬉々!! パフォーマンスラボによる「ドクターツ」
お姫様や探偵、雪だるまの妖精など総勢15名程が登場するハチャメチャなストーリー!?

概要
日時：2024年6月8日(土) 13:00～14:45
場所：4階 あかいくつ劇場
料金：無料(※別途企画展チケットが必要)
定員：100名
予約：当館ホームページから4月28日(日) 10時より予約開始



土井典追悼 トークショー&舞踏公演
人形を語る—『夜想』と『DOLL FORUM JAPAN』

国内外の人形作品、人形文化について貴重な情報を発信してきた雑誌『夜想』と『DOLL FORUM JAPAN』。両誌の発行や編集を行ってきた、ミルキィ・イソベさんと羽関チエコさんのお二人と、20世紀以降の「人形」表現及び「美術と人形」の関係に詳しい芸術批評家の榊山裕子さんをお招きし20世紀から今日に至るまでの創作人形文化について語り合います。また本展にて展示の土井典についてもその功績を振り返ると共に、当時土井氏と交流のあった舞踏家、小林嵯峨さんによる舞踏公演も併せてお楽しみいただけます。

登壇者 ミルキィ・イソベ 羽関チエコ 榊山裕子
舞踏公演 小林嵯峨

概要
日時：2024年6月22日(土) 13:00～15:30
場所：4階 あかいくつ劇場
料金：1000円(※別途企画展チケットが必要) オリジナルノベルティ付き
定員：100名
予約：当館ホームページから5月12日(日) 10時より予約開始



小林嵯峨 / Kobayashi Saga
1969年より75年まで土方巽に師事。現在はソロおよびグループにて舞踏の原点へと翔行、そこから新たな視線や可能性を探る

その他イベント

詳細につきましては、公式ホームページやSNSにて随時更新情報をご確認ください。

ミラー&缶バッジづくり

「やまなみ工房」「嬉々!! CREATIVE」所属作家のビジュアルを使用して、缶バッジや手鏡、マグネットなどをつくります。



嬉々!! CREATIVE 所属作家による公開制作



アクセス 横浜市中区山下町18番地
・電車でお越しの場合：みなとみらい線元町・中華街駅4番出口より徒歩3分
・バスでお越しの場合：市営バス8・58系統「山下ふ頭入口」下車
入館料 大人(高校生以上) 400円 / 小・中学生 200円 ※未就学児は無料
開館時間 9:30～17:00(最終受付16:30)
休館日 毎週月曜日(祝日の場合は翌平日)、年末年始



DOLL MUSEUM 横浜人形の家

横トへ行こう! 2024.3.15-6.9

2024.4.6(土) 13:00
↓
6:30(日)

観覧料 大人1000円、小中学生500円(入館料含む、未就学児童は入館および観覧無料)
会場 横浜人形の家3階企画展示室
休館日 毎週月曜日(月曜が祝日の場合は開館し、翌火曜日が振替休館)
開館時間 9時30分～17時00分(16時30分最終受付)

ひとはなぜ
“ひとがた”を
つくるのか

? ? ?



Why do humans create human-shaped objects?

ひとがたを？をつくるのか？

人形（にんぎょう/ひとがた）は人間の心のかたちと身体のかたちが独特に織り合わされている。

人形という漢字にあてられた、「ひとがた」という読みを補助線に、本展では人のフォルム（かたち・かた）そのものの多様性に着目し、それらを生み出した心と、精神性の多彩さ、身体のかたちの異質さゆえに生まれる表現の豊かさにふれることを試みます。古くは土偶、埴輪、当館収蔵の民族人形およびこけしなどの郷土玩具、近代以降の創作人形、現代アート、昨今のアクリルスタンド、また立体だけでなく平面的な画の中に描かれる「ひとのかたち」など幅広く展示します。

01 各時代のひとがた

human shape of each era

世界最古の「ひとがた」は、一説ではドイツで出土されたおよそ35000年前のホーレ・フェルス人のヴィーナスとよばれる小像であると言われます。その後、現在に至るまで「ひとのかたち」はどのような変遷を辿ったのでしょうか。オリジナルやレプリカの展示と各時代の解説を元に、各時代のトピックとなる「ひとがた」についてご紹介します。

- 旧石器時代の女性小像たち - 石倉敏明
- 横浜人形の家と「ひとがた」と「にんぎょう」の収集について - 伊井さえこ
- 縄文時代～心の道具としての土偶 - 草刈朋子（縄と矢じり）
- 古墳時代のひとがた—埴輪 - 若狭 徹
- 平安～江戸～昭和—ひとがたから郷土玩具へ - 佐々木一澄
- 大正～昭和から現在につながる創作人形 - 羽関チエコ
- いま・このひとがた - 菊地浩平



02 身体を縫う / 欠損と違和

sew the body / deficiency and discomfort

ストッキングタイツや化粧品などの素材を使い、祖母をはじめとした母方の女性親族をモチーフに人形を制作する工藤千尋の新作とこれまでの作品をご紹介します。血族の特徴である下肢の遺伝疾患を作家自身の持つ心身の違和や欠落の感覚になぞらえ、魂の依り代としての「ひとがた」へ手術的行為として糸を縫い込んで制作される人形。その「ひとがた」を通じて、普遍的な祈りについても思いを巡らせます。



工藤千尋

Kudo Chihiro

1981年、秋田県生まれ。東京藝術大学美術学部先端芸術表現科卒業。主な出展に、「私たちは何者？ ボーダレス・ドールズ」（渋谷区立松濤美術館 / 東京 / 2023）、「柳野展正のアウトサイド・ジャパン」（東京ドームシティ Gallery AaMo / 東京 / 2019）など。

Plump figures: transcending body norms

03

ふくよかな身体
あるいは
身体からの逸脱

身体の多様な在り方についても、現在ではファッションや人形玩具などを通じて様々な試みが見られるようになりました。創作人形の世界でいち早くふくよかな女性の美しさや反抗的な姿を制作した土井典や、豊満な身体でありながら重力を感じさせない高橋操の表現について展示します。また、1体の「ひとがた」でありながら、身体の内部や外部にもまた別の世界を感じさせる表現についても展示します。

土井典

Doi Nori

澁澤龍彦にハンス・ベルメールの人形のレプリカを依頼されたのをきっかけに球体関節人形を制作。四谷シモンとともにその先駆者として知られるようになる。また澁澤龍彦編集の『血と薔薇』のための貞操帯、土方巽の舞台や各方面の依頼にも協力した。自身はマネキン構造を応用した球体関節人形や、娼婦のような際どいメイクと衣裳をつけた肥満体の人形を制作。



高橋操

Takahashi Misao

横浜生まれ。1986 第2回人形たち展 招待出品（プランタン銀座 他）2003-13 安達忠良・高橋操二人展（四谷 / 晩紅舎）2008 アーツクラフツ展 招待出品（箱根 / 彫刻の森美術館）2015-23 MISOROGI 人形展（丸善 丸の内本店）2020-23 My・クリエイティブドール展（横浜みなとみらいギャラリー）



大森記詩

Omori Kishi

1990年東京都生まれ。東京藝術大学大学院美術研究科 美術専攻 彫刻研究領域 博士後期課程 修了。断片性を有する素材に着目しながら、物体や事象のスケール感に対するルーツ、社会的な変性をテーマにした彫刻作品を制作。さらに模型誌メディアでの連載を担当するなどシームレスに活動している。



each shape

04

それぞれの
かたち

滋賀県にある障がい者施設「やまなみ工房」と神奈川県にある「嬉々!! CREATIVE」所属の制作者がつくるそれぞれの「ひとがた」を展示します。それぞれのペースで、その日したいことをするという心地よい環境の元につくられる「ひとがた」には、どのような思いが込められているのでしょうか。

やまなみ
工房

Atelier Yamanami



井上優



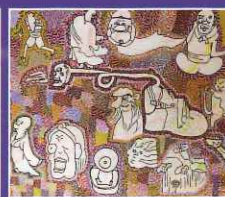
大路裕也



大原菜穂子



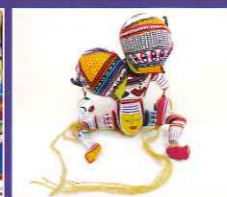
鎌江一美



神山美智子



川邊紘子



栗田淳一



酒井美穂子



清水千秋



森田郷士



山崎菜那

嬉々!!
CREATIVE

Kiki Creative



笈純爾



岩本義夫



青木南海

協力

北村泰弘、榊山裕子、桐田敬介、森田博之、
有限会社 ANT、深海洋燈、羽関チエコ
神奈川県立歴史博物館、
横浜ユーラシア文化館、
寺山修司記念館

いざなぎ流の かみ・かたち

— 祈りを込めたヒトガタたち —

2024 4.20 sat - 7.21 sun

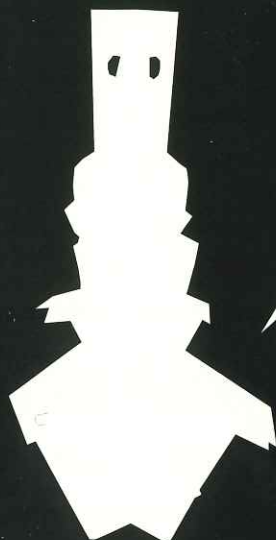
09:30-17:00 *16:30 受付終了

横浜人形の家 二階多目的室

毎週月曜日休館

大人七〇〇円 / 子ども三五〇円

* 入館料含む、未就学児無料





横浜人形の家
第二企画展

Izanagi-ryu

いざなぎ流の かみ・かたち

— 祈りを込めたヒトガタたち —

2024年 4月20日(土) ~ 7月21日(日)

時間 / 9:30 ~ 17:00 * 最終受付は 16:30

会場 / 横浜人形の家 2階 多目的室

休館日 / 毎週月曜日休館

* 4月29日、5月6日、7月15日は開館し翌火曜日が振替休館

観覧料 / 大人(高校生以上)700円・小中学生350円

* 入館料(大人400円・小中学生200円)含む、未就学児は無料

主催 / 横浜人形の家

協力 / 高知県立歴史民俗資料館
いざなぎ流と物部川流域の文化を考える会
香美市教育委員会物部分室



関連イベント 「いざなぎ流」を知る各種イベント

ワークショップ① 「ものべのものけ」缶バッジづくり

物部に伝わる神や物の怪のイラストで缶バッジをつくります

日時 / 5月3日(金祝)10:00~12:00・13:00~16:00 * 昼休憩あり

参加費 / 300円 * 当館入館チケットも必要

会場 / 横浜人形の家 3階 イベントスペース

定員 / 50名 申込 / 当日随時受付



イラスト提供「ものべ民話と歴史の会」
(©伊井みどり氏)

ワークショップ② 紙から生まれるカミと飾り「いざなぎ流太夫さんに学ぶ御幣切り」

森安正芳氏(いざなぎ流太夫)、小松昌裕氏 * 完成した御幣はお持ち帰りいただけます

日時 / 6月15日(土) 10:00~12:00 参加費 / 3,000円 * 本展の当日チケットも必要

会場 / 横浜人形の家 4階 あかいくつ劇場ホワイエ 定員 / 22名

申込 / 事前申込 * 5月18日(土)10時より当館Webページより申込受付開始

トークイベント① 「物部の民俗といざなぎ流」(『物部の民俗といざなぎ流御祈禱』上映付)

松尾恒一氏(国立歴史民俗博物館教授)

日時 / 5月11日(土) 14:00~16:30 参加費 / 500円 * 本展の当日チケットも必要

会場 / 横浜人形の家 4階 あかいくつ劇場 定員 / 120名

申込 / 事前申込 * 4月14日(日)10時より当館Webページより申込受付開始

トークイベント② 「いざなぎ流のひとがた御幣と祭文」

小松和彦氏(国際日本文化研究センター名誉教授)

日時 / 5月26日(日) 14:00~15:30 参加費 / 500円 * 本展の当日チケットも必要

会場 / 横浜人形の家 4階 あかいくつ劇場 定員 / 120名

申込 / 事前申込 * 4月14日(日)10時より当館Webページより申込受付開始

トークイベント③ 「いざなぎ流の祈禱と神楽」

梅野光興氏(いざなぎ流と物部川流域の文化を考える会)「いざなぎ流の神楽と神がかり」

山本ひろ子氏(成城寺小屋講座/和光大学名誉教授)「青ヶ島の読み上げ祭りと巫女」

日時 / 6月15日(土) 14:00~16:30 参加費 / 1,000円 * 本展の当日チケットも必要

会場 / 横浜人形の家 4階 あかいくつ劇場 定員 / 120名

申込 / 事前申込 * 5月18日(土)10時より当館Webページより申込受付開始



横浜人形の家

〒231-0023 神奈川県横浜市中区山下町18

TEL 045-671-9361

https://www.doll-museum.jp/

アクセス

ACCESS

電車で / みなとみらい線「元町・中華街」駅 4番出口より徒歩3分

JR根岸線「石川町」駅 元町口より徒歩13分

バスで / 市営バス8・58系統「山下ふ頭入口」下車、徒歩1分

駐車場

PARKING

普通車1時間につき500円

平日のみ24時間最大1,200円 / 駐輪場はありませんのでご注意ください

